

アフリカ豚熱対策について

農林水産省

令和6年2月2日

アフリカ豚熱とは

アフリカ豚熱とは

- (1) 原因：アフリカ豚熱ウイルス (African swine fever virus)
- (2) 宿主：豚、いのしし (ダニによっても媒介) ※人には感染しない
- (3) 分布：アフリカ、欧州の一部 (ロシア及びその周辺国、東欧) のほか、平成30年8月に中国で発生 (アジアで初の発生) 以降、アジア地域での発生が拡大。アジアの19か国・地域で発生 (令和6年1月時点)。
※ 日本未発生。
- (4) 症状：甚急性～不顕性まで幅広い病態を示す。
現在の世界流行株では急性経過で死亡。
※ 豚熱に酷似するがより病原性は強い傾向。
※ ワクチン、治療法はない。
※ ウイルスは環境耐性があり、食肉・死体等でも長期に感染性保持。
→感染動物は急激に弱る・死亡＋死体のウイルスは長期間残存
→イノシシ感染事例では死体対策が極めて重要



【全身の出血性病変、チアノーゼ】

(出典：Veterinary school of Barcelona, Spain Centro de Vigilancia Sanitaria, Veterinaria, Spain)

豚熱とは (参考)

- (1) 原因：豚熱ウイルス (classical swine fever virus)
- (2) 宿主：豚、いのしし ※人には感染しない
- (3) 分布：欧州、アジア、アフリカ、南米の一部の国々
※ 我が国では平成30年9月に26年ぶりに発生。
飼養豚では20都県、野生イノシシでは34都府県で発生 (令和6年1月時点)。
- (4) 症状：急性、亜急性、慢性型等多様な病態を示す。発熱・白血球減少。
※ 有効なワクチンが存在

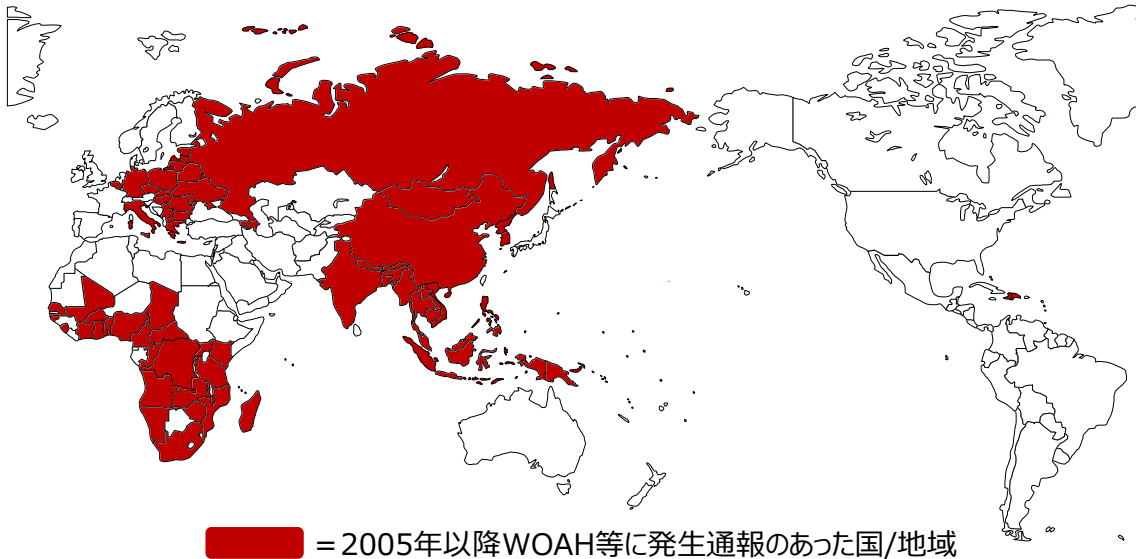


【皮膚紫斑 (しはん)】

(出典：動物衛生研究部門)

アフリカ豚熱の発生状況

- 2018年8月に中国においてアジア初の発生。その後、韓国やベトナム等アジア全域に感染が拡大。
特に、**韓国では2019年9月の発生確認以来、飼養豚、野生イノシシで、徐々に感染が拡大（直近では飼養豚では2024年1月に発生し、野生イノシシでは2024年1月に釜山広域市で感染が確認）。**
- 東アジアでアフリカ豚熱が発生していないのは、**日本、台湾のみ。**
- 既に、我が国に違法に持ち込まれた畜産物から、**アフリカ豚熱ウイルスが4件で分離**されているほか、**ウイルス遺伝子についても中国やベトナム等を中心に141例検出**されており、**旅行者により持ち込ませないための出国前の対応**や国際郵便物を含めた水際対策の強化により、事前に侵入を防止することが極めて重要。
- 万が一、野生イノシシに侵入を許した場合、**豚熱と異なり有効性が認められたワクチンがない**ことから、農場の飼養豚については、飼養衛生管理の向上が必要であるとともに、**野生イノシシについて、死体が感染源となるため、死体を衛生的に処理する必要。**



[参考]違反の実例



中国からの旅客に持ち込まれた違法豚ソーセージ
(感染性のあるアフリカ豚熱ウイルスを検出した事例あり)

(参考) 豚熱、アフリカ豚熱の病原性に関する比較

	伝播性	致死率
豚熱	++	+
アフリカ豚熱	+	++

伝播性：感染しやすさ（ウイルスに接触した豚のうち感染する個体の割合）
致死率：感染し、発症した豚のうち、死亡した個体の割合

出典：FLI（ドイツ連邦動物衛生研究所）作成資料

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

韓国で北部から南部へと徐々に発生が拡大していた中で、**昨年12月に釜山広域市で急に野生イノシシでの感染が確認され**、1月には、**日本に向かうフェリーターミナルに近い場所でも野生イノシシでの感染が確認**。

【飼養豚での事例】

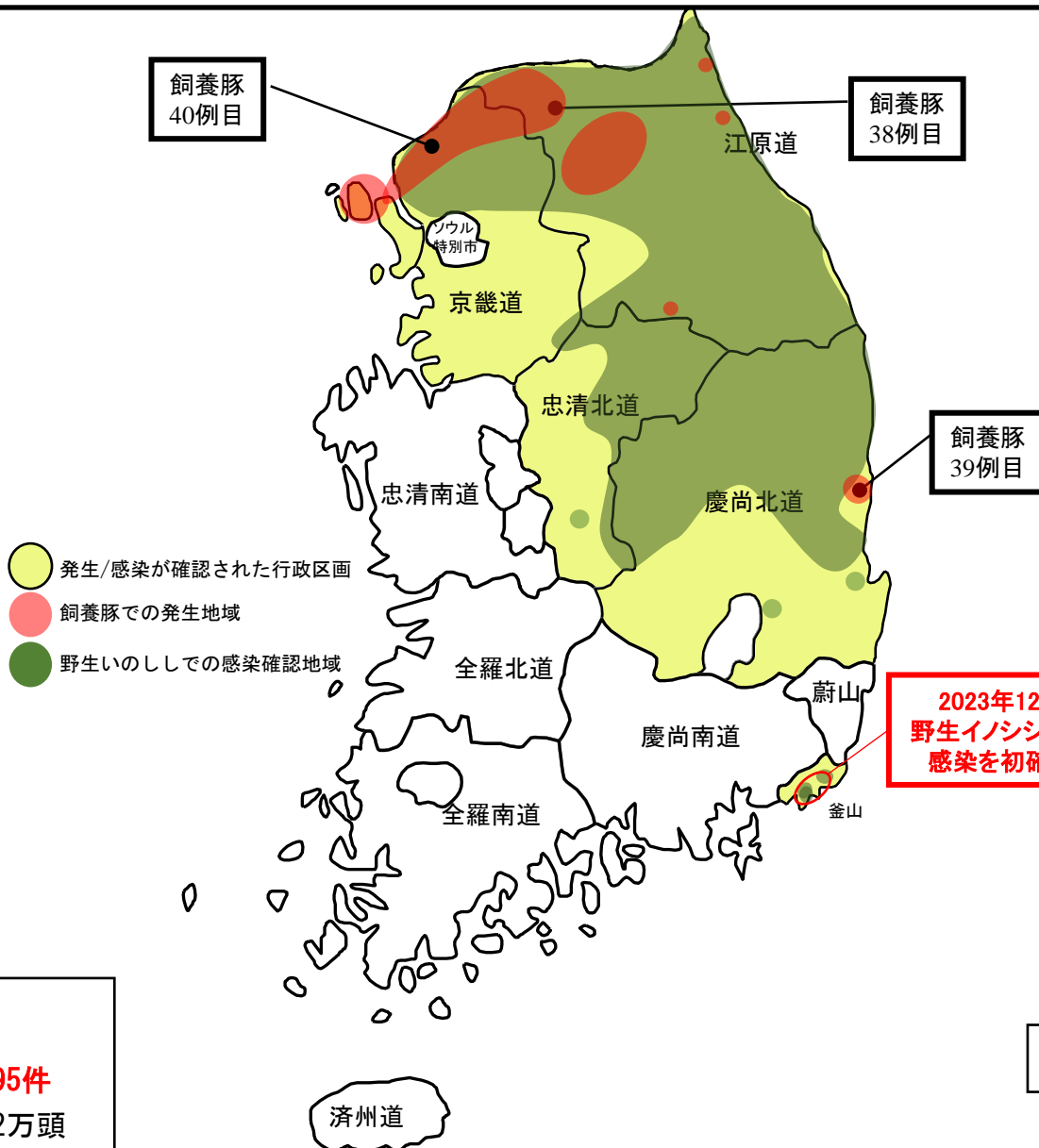
事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原道鉄原郡
38	2023/9/25	江原道華川郡
39	2024/1/15	慶尚北道盈徳郡
40	2024/1/18	京畿道坡州市

初発生日：2019年9月16日

発生数（豚）：**40件**

感染数（野生いのしし）：**3,595件**

豚、いのしし飼養頭数：約 1,122万頭



【野生イノシシでの事例】

(単位：件)

京畿道	坡州市	100
	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
	鉄原郡	37
	華川郡	426
	春川市	222
	楊口郡	81
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	247
	襄陽郡	36
江原道	江陵市	110
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	束草市	1
	旌善郡	179
	横城郡	63
	三陟市	99
	原州市	83
	太白市	19
	東海市	8
	丹陽郡	173
	堤川市	91
忠清北道	報恩郡	73
	槐山郡	12
	陰城郡	1
	忠州市	103
	尚州市	95
	蔚珍郡	56
	聞慶市	64
	荣州市	12
	醴泉郡	11
慶尚北道	奉化郡	75
	盈徳郡	85
	安東郡	26
	英陽郡	62
	青松郡	51
	浦項市	20
	永川市	8
	義城郡	3
	釜山広域市	10
合計		3,595

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成
飼養頭数：FAO統計(2021)による

2024年2月1日時点

韓国釜山・野生イノシシアフリカ豚熱感染確認事例(10事例)

1例目感染確認地点
(2023年12月21日)

4~5例目感染確認地点
(2024年1月26日)

3例目感染確認地点
(2024年1月25日)

2例目感染確認地点
(2024年1月18日)

8例目感染確認地点
(2024年1月28日)

10例目感染確認地点
(2024年1月31日)

6~7例目感染確認地点
(2024年1月26日)

9例目感染確認地点
(2024年1月30日)

航路: 対馬行き

航路: 下関行き

航路: 大阪行き

航路: 博多行き

(注) 感染確認地点は報道情報・日付は公式プレス又は報道情報に基づく



日本にアフリカ豚熱を侵入させないために必要な対策

幾重にもウイルスを殺す機会を作る！
幾重にもウイルスと動物の接触機会をなくす！

海外対策

<旅行者 & 船舶・航空機>

水際対策

<空港 & 海港>

国内対策

<農場 & 野生イノシシ>

出国前から日本に持ち込ませない

- 旅行者への畜産物持ち込み禁止等の注意喚起



国内に侵入させない

- 家畜防疫官、検疫探知犬による検査
- 旅客の靴底や車両、自転車等の消毒

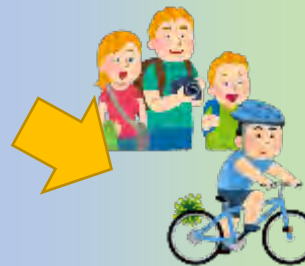


周知徹底 周知徹底

動物検疫所



海外からの旅行者等に向けた広報等



農場に侵入させない

- 飼養衛生管理の徹底



都道府県

野生イノシシの感染を防止する

- 旅行者等への周知徹底 <ゴミ放置禁止、消毒等>
- 消毒・洗浄ポイントの設置等



都府県

アフリカ豚熱対策の更なる強化①（水際対策の徹底）

出国前から日本に持ち込ませない

- 釜山から日本に直行する**全てのフェリー等（5社）**における、**船内アナウンスによる畜産物持ち込み禁止・罰則に関する注意喚起や注意すべき取組を示したポスターの船内掲示等の実施**。また、韓国から日本への直行便のある**航空会社**についても、**11社が機内アナウンス**による注意喚起等を実施。
- 在外公館による**韓国出国前の旅行者に対するSNSを利用した情報発信・旅券発券時のリーフレット配布等**を継続的に実施。関係団体を通じ、**旅行代理店、技能実習生等への注意喚起と情報発信**。
- 訪日韓国人旅行者に影響力を持つ人気**韓国人ブLOGGER**から、**畜産物持ち込み禁止及び靴や自転車の泥を落とすこと等についての情報発信**。

<各言語のチラシを活用>



空海港における対策

- 韓国からの全ての船舶及び航空便に対して、家畜防疫官による検査**を実施中。釜山からの船舶に対しては**全ての旅客に口頭質問を実施**し、トレッキングシューズ、ゴルフシューズ等の要消毒物品に対して対応を確実に実施し、検疫探知犬についても可能な限り活動回数を増加。航空便に対してはさらに**検疫探知犬の活動回数を増加**。
- 従来から**国際線が就航する全ての空海港に靴底消毒マットを設置**。旅客の靴底や自転車等に対して十分な効果がある消毒を実施できるよう、**適切な濃度の消毒液の活用や消毒マットの効果的な配置**。
- 関係機関、航空関係者、港湾関係者と連携し、釜山定期旅客船の就航する4港（下関港、博多港、比田勝港、大阪港）においては、**車両、自転車等の消毒を実施**。フェリーに搭載される車両について、乗船前の消毒を実施するよう船舶会社に依頼。畜産関係車両については入国時にも車両消毒を実施。
- 国内線における靴底消毒マットの設置について、都道府県に改めて実施依頼。

野生イノシシ等への感染防止対策

- 釜山広域市と主要な定期フェリー航路を有している県を中心に、**韓国人旅行者の立ち寄り場所などリスクの高い場所を特定して、効果的に野生イノシシ等への侵入防止対策を新たに実施**。
- 1月に全国の担当者を対象として会議を開催し、観光地やレクリエーションなどの**訪日旅行者の立ち寄り場所について分析中**。**空海港や農場周辺のみならず、バスやレンタカー等、都市部や河川敷などにおける、ポスター掲示等による注意喚起やゴミ箱の設置や管理の徹底、消毒の実施**など必要な対策を各都道府県で実施。

アフリカ豚熱対策の更なる強化②（野生イノシシ対策、飼養衛生管理）

野生イノシシ対策 （国内で広げない）

- ・ 死体を衛生的に処理する必要があり、万が一の侵入時に備えた**野生イノシシにおける死体処理等の初動対応について、基本方針案を公表**。
- ・ 早期に発見できるよう、**サーベイランス**による野生イノシシにおける浸潤状況を引き続き把握。
- ・ 実際の感染を確認した場合を想定し、**農研機構、県などの関係者の協力を得ながら死体処理や運搬方法等を検証するための防疫演習**を農林水産省において実施。
- ・ **万が一野生イノシシへ侵入した際に必要となる特殊な防疫資材（簡易電気柵、納体袋）等を備蓄**。また、各都道府県においても**アフリカ豚熱に関する防疫演習が実施できるよう支援**。
- ・ 一般登山者向けの動画を通じ、**登山等による感染拡大防止対策として、畜産物を含む廃棄物の適切な処理や、登山靴の洗浄消毒等について周知**。

＜侵入時に備えた防疫演習＞



＜一般向け動画の公表＞



↑動画はこちら
@maffchannel

飼養衛生管理 （農場に入れない）

- ・ 豚熱と異なり実用性が確認された**ワクチンはない**ため、**飼養豚への感染予防対策は飼養衛生管理の徹底**が何よりも重要。
- ・ 生産者をはじめとする関係者に対して**侵入リスクが高まっている危機感を共有し、農場における飼養衛生管理の徹底等**について改めて指導。
- ・ 万が一の侵入時に的確な初動対応ができるよう、**都道府県における防疫体制を関係部局と連携し構築**するなどの万が一に備えた準備をすすめるよう改めて通知。

＜野生動物等の侵入防止＞



＜車両消毒・立ち入り時の消毒＞



中国 非洲猪瘟 发生中



大部分的生肉或肉制品
从海外不能带入日本。
肉制品禁止带入日本。
在家里烹饪的，真空包的，
在免税店售卖的，包括以上肉制品。

禁止入境

在海外请勿进入畜牧业相关设施！！
如您进入过畜牧业相关设施，入境日本时，请前往行李提取区的动物检疫服务台



肉製品等の持ち込について
详细是Web

农林水产省 动物检疫所

해외 여행 선물이 육가공제품? 그것은 괜찮아요?



해외로부터의 육가공제품 대부분이
일본에 가지고 들어올 수 없습니다.
집에서 조리한 것
가열한 것
진공팩으로 포장된 것,
면세점에서 판매되는 것도
대상이 됩니다.

STOP

농림수산성 동물검역소

자세한 내용은 웹에서

檢疫所 動物

육류, 과일 및 야채 반입 금지 규정! これらは持ち込禁止!



한국에서 아프리카돼지열병(ASF) 발생중! 韓国でアフリカ豚熱(ASF)発生中! 신발, 자전거 타이어 소독 실시중! 靴底、自転車のタイヤ消毒中!



가축의 전염병은 해외에서 반입한 육제품, 포장물 등을 신발, 자전거 타이어 등을 통해 일본에 침입할 우려가 있습니다. 일본 입국 시 신발이나 자전거 타이어 정소소독에 협조 부탁드립니다.

家畜の伝染病は、海外から持ち込んだ肉製品、梱包の土壌を踏んだ靴、自転車タイヤなどを介して、日本に侵入する恐れがあります。日本入国時は、靴底や自転車のタイヤの消毒・消毒にご協力ください。

일본 도착입니다! 日本到着です!

해외에서 일본으로의 육제품 반입이 금지되어 있습니다. 일본 입국 시 신발이나 자전거 타이어 정소소독에 협조 부탁드립니다.

日本へ肉製品の持込はできません。日本入国時は、靴底や自転車のタイヤの消毒・消毒にご協力ください。

농림수산업성 동물검역소 農林水産省動物検疫所

海外からの旅行者の皆様へ

アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。



1

肉を含む食品は、
野外で絶対に捨てないでください！



2

靴の土は落としてから外出しましょう。



3

家畜がいる施設に
近寄らないようにしましょう。



4

野生イノシシや罾・柵がある地点に
近寄らないようにしましょう。



5

消毒ポイントでは
指示に従ってください。



農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/consumer.html>



일본으로 입국하시는 여러분께!

아프리카돼지열병 바이러스 유입방지



1

고기를 포함한 식품은
절대 야외에서 버리지 마세요!



2

신발에 묻은 흙은 반드시 털고
난 후에 나가 주세요.



3

가축이 있는 축사 등에는
접근하지 않도록 해 주세요.



4

야생 멧돼지나 덫이나 울타리가
있는 곳에는
접근하지 않도록 해 주세요.



5

소독하는 곳에서는
지시에 따라 주세요.



Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

https://www.maff.go.jp/e/policies/ap_health/animal/csf_asf.html



Attention to International Travelers

Prevent the Entry of African Swine Fever Virus



1

Do not discard
foods containing meat in nature!



2

Ensure your **shoes are free of soil**
before exploring in nature.



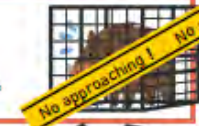
3

Avoid proximity to **livestock facilities**.



4

Steer clear of
wild boars, traps, and fenced areas.



5

Follow instructions
at **disinfection points**.



Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

https://www.maff.go.jp/e/policies/ap_health/animal/csf_asf.html



家畜の伝染病の 侵入防止への 協力をお願い



今、世界ではアフリカ豚熱と口蹄疫という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大します。これらが日本に侵入すれば、畜産物の安定供給に深刻な悪影響を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が重要です。

01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

アフリカ豚熱 (ASF)



特性 致死率はほぼ100% (基疾患、急性型の場合)
ウイルスは長期にわたって環境中に生存 (乾燥なら1,000日以上も)
pH4~11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品(ソーセージ等)の中でも生存できる

予防・治療 有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

損害 中華人民共和国で死亡・検死分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に(2019年の事例)

口蹄疫 (FMD)



特性 口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、畜産動物としての価値が著しく低下
ウイルスの感染力が極めて強い
空気を飛ぶ (風に乗って6.0km以上離れた農場に移った例あり)
豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大1,000万頭感染させる量に相当

予防・治療 有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

損害 過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害 (2010年の発生に際する宮崎県の例、期間除染含む)

※ いずれの病気も人への感染の心配はない*

※ 畜舎では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に曝露して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の食生活の中で人に感染することはない。人が感染した場合は、発熱や口内炎になる程度で済むことが多く、死亡例はない。

02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、アジア各国に拡大。
 - 口蹄疫は、多くの国で継続的に発生。
 - いずれの病気も発生していないのは日本や台湾などごく限られた国・地域*。
- * 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後消滅している。



アフリカ豚熱の初発国年	
国・地域名	初発国年
中国	2018年
韓国、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム、ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー、インドネシア、タイ、マレーシア	2019年
インド	2020年
マレーシア、タイ、ブータン	2021年
ネパール	2022年
シンガポール、インドネシア	2023年

口蹄疫発生国・地域	
国・地域名	発生年
中国(2)、ロシア(3)、ベトナム(28)	2021年
カンボジア(42)、マレーシア(21)、タイ(47)	
インド(26)、ブータン(24)、ネパール(40)	
モンゴル(202)、スリランカ(36)	
中国(2)、カンボジア(24)、タイ(28)	2022年
マレーシア(28)、インドネシア(本邦)	
インド(203)、ブータン(3)、ネパール(86)	
モンゴル(2)、スリランカ(57)	
中国(4)、韓国(21)、ネパール(15)	2023年
カンボジア(2)、マレーシア(7)	
インドネシア(本邦)	

03 侵入を防ぐためにできること

1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を動物が食べると感染
- 不法持込された肉製品から生きてもアフリカ豚熱ウイルスを発見



2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの食べ残し、ごみからも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入ったトレーやインシシが原因だけでなく感染
- 海外では野生インシシでアフリカ豚熱がまん延し、接触が原因に



3 帰国後1週間は動物に近づかない

- 服や靴についたウイルスを介しても感染

